

取扱嚴重注意

自治労資料2024第40-②号
2024年9月30日
ウェブ開催

2025年度第1回県本部代表者会議 2025年度第1回拡大闘争委員会 (分冊②)

議事次第

Ⅲ 第27回参議院選挙闘争の推進について	1
----------------------------	---

全日本自治団体労働組合

Ⅲ 第27回参議院選挙闘争の推進について

I 情 勢

当日配布

9月27日に自民党新総裁が選出されるため、
情勢については、当日配布とさせていただきます。

Ⅱ 具体的取り組み

1. 取り組みにあたって

- (1) 組合活動の原点は、「誰もが安心して働き続けられる職場をつくる」ことです。単組の執行部は、普段から「組合員が直面する課題や職場の身近な問題を受け止め、その解決にむけて活動する」という組合の基本的役割を機能させることが不可欠です。単組執行部は組合員と日ごろからコミュニケーションを図り、普段から気軽に「声かけ」できる下地を作ることが重要です。
- (2) 単組運動を活性化するために、組合員との対話を重視し、組合員の意見・要望を聞くことのできる場を設定することができるよう、県本部は単組活動をバックアップしていくことが必要です。
- (3) 今後、確定闘争や現業・公企統一闘争に向けて組合員が集まる会議・集会等に合わせ、政治学習会（労働組合が政治活動に取り組むことの意義を確認する等）を盛り込むなど検討してください。「岸まきこ」の取り組みが、県本部・単組執行部で止まることのないよう単組組合員まで「浸透」することを心掛けてください。普段の単組運動・活動の延長線上に、参議院選挙の取り組みがあります。

2. 「岸まきこ」県本部・単組推薦と闘争体制の確立

- (1) 9月25日現在、47都道府県本部・1社保労連、1,644単組（64.12%）が推薦決定をしています（推薦状原本の本部送付済みベース）。速やかに全単組における推薦決定をお願いします。また、各単組・支部に「岸まきこ」からの推薦御礼を発送しますので、県本部に留まっている「推薦状」等がありましたら、本部選対まで必ずお送りください。
- (2) 推薦決定といった機関決定が難しい場合は、様式・形式にこだわることなく、最低限、「岸まきこ」の支援を意思表示する何らかの取り組みをお願いします。
- (3) 支部推薦については、22県本部・229支部が推薦決定をしています。都道府県職、県都・政令市・特別区職といった組合員数の多い単組については、とくに、より組合員に近い小さな組織単位での取り組みが重要であることから、支部、分会単位での推薦決定を進めます。
- (4) 推薦決定後、県本部・単組は「参議院選挙闘争本部」を設置し取り組みを進めます。闘争本部のメンバーには、執行委員、青年部代表者、女性ネット代表者、退職者会役員等、自治体議員連合代表を選出し、体制と闘争方針を確立します。

3. 「岸まきこ」の遊説計画

- (1) 「岸まきこ」は、通常国会閉会の6月末から9月上旬の間、216ヵ所の単組訪問のほかに、本部・地連・県本部等の諸集会・学習会、ウェブでの講演や意見交換、国会見学での意見交換など、限られた時間の中で、精力的に活動してきました。9月中下旬は立憲民主党代表選への対応や、「鬼木まこと」と分担して県本部大会へのあいさつに可能な限り出席してきました。10月は臨時国会の後、解散・総選挙も想定され、「岸まきこ」本人日程の見通しが立てづらい状況にあります。

<参考：第49回(前回)衆議院選挙の日程>

- ・2021年9月29日：自民党総裁選
 - ・10月4日～14日(11日間)：第205回臨時国会(首班指名、所信表明・質疑、衆院解散)
 - ・10月19日：衆院選告示、10月31日：衆院選投開票
 - ・11月10日～12日(3日間)：第206回特別国会(衆院正副議長選出、首班指名)
 - ・12月6日～21日(16日間)：第207回臨時国会(所信表明・質疑、補正予算案等)
 - ・2022年1月17日～6月15日：第208回通常国会(第26回参院選の実施年)
- ※ 2019年1月28日～6月26日：第198回通常国会(第25回参院選の実施年)

- (2) 仮に、10月衆議院解散、総選挙になった場合、その期間の「岸まきこ」本人の日程は、衆議院選挙の自治労組織内候補や地元北海道での応援に回ることが想定されます。また、衆院選とセットで「岸まきこ」の単組回りの要請があれば、可能な限り本部選対で日程調整していきます。「岸まきこ」が来県する場合、その情報は必ず退職者会と連携してください。なお、上記の2021年の第49回衆議院選挙の日程から想定すると、12月に臨時国会が開催されており、通常であれば臨時国会閉会後に想定された県本部・単組回りの日程を現段階での確定は難しい状況であることをご了承ください。
- (3) 引き続き土日・祝日については、可能な限り、本部の会議や諸集会、県本部の機関会議(大会、中央委員会、単組代表者会議等)や諸集会・学習会(現業・公企統一闘争決起集会、青年女性部政治セミナー等)などで、あいさつだけでなく、国政報告や決意表明等を行います。
- (4) Zoomを活用し、県本部・単組の諸会議・集会、評議会・協議会等の学習会などにウェブで参加することが可能です。「岸まきこ」と接点をもつためには、積極的に活用いただきたいと思います。

<ウェブ意見交換の内容のやり取りについて(ガルーンメッセージ)>

- (1) 送信先 渡邊武（中央本部）、橋本勇介（中央本部）、
米田由美子（中央本部）
※ 「送信先」は漏れなく必ず3人入れてください。
- (2) 標 題 【岸ウェブ】 県本部名○月○日 会議・集会・企画名
※標題は指定の通りでないと、埋もれる可能性がありますのでご注意ください。
- (3) 本 文 ・ Zoomの I D、パスコード ※県本部で発行をお願いします。
・ 次第、企画内容
・ 規 模 （おおよその参加者数）
・ 担 当 者 （担当者名と連絡先）
・ 当日緊急連絡先（携帯番号）
・ 要望事項 （主に触れてほしい発言内容等） など

- (5) この間、集会・学習会等については重複することが多く、必ずしもご希望に添えない場合もありましたが、引き続き、県本部や単組等において「岸まきこ」が組合員とあいさつ、意見交換等ができる日程がありましたら、本部選対事務局までお知らせください。単組訪問の合間を縫って実施することは、なかなか難しいかもしれませんが、Zoomの活用もご検討ください。また、発言する時間は、冒頭だけに限らず柔軟に対応できるよう配慮をお願いします。

日程の依頼は、行き違いを防ぐためにも、口頭でのやり取りでなく、ガルーンメッセージを以下の要領で入れていただくと助かります。

<日程調整にあたって>

- (1) 送信先 渡邊武（中央本部）、橋本勇介（中央本部）、
米田由美子（中央本部）
※ 「送信先」は漏れなく必ず3人入れてください。
- (2) 標 題 【岸日程】 県本部名○月○日 会議・集会・企画名
※標題は指定の通りでないと、埋もれる可能性がありますのでご注意ください。
- (3) 内 容 ・ 企画名称
・ 日 付
・ 開催時間 （会議等の開催時間。開始～終了）
・ 発言希望時間 （○時○分頃から○分間）
・ 方 法 （対面か、オンラインか）
・ 場 所 （オンラインの場合もお願いします）
・ 規 模 （おおよその参加者数）
・ 担 当 者 （担当者名と連絡先）

・要望事項（主に触れてほしい発言内容等）

※ 文書（發文、要項等）があれば添付してください。

(6) 組合員が「岸まきこ」「鬼木まこと」事務所を訪問する「国会見学・組織内議員との意見交換会」を開催し、「岸まきこ」もしくは「鬼木まこと」からの国政報告や意見交換を行うことができます。県本部評議会や青年部・女性部、単組などで実施してきた実績があります。東京開催の諸集会・会議とあわせて開催の企画をお願いします。開催希望の場合は、「（3つ程度の）候補日時」「人数」をあらかじめ本部選対までご連絡いただいた上で、「岸まきこ」事務所と調整の後、個別に事務所とのやり取りを行います。

※ 土日の国会見学も可能ですが、議員会館は使用できないため、議員会館近くの会議室や自治労会館を確保するなど、検討してください。

なお、「国会見学会」の例として、「組織内議員との意見交換＋写真撮影＋休憩＋移動」を2時間、「国会見学」を1時間の計3時間が想定されます。

<組織内議員との意見交換＋国会見学タイムスケジュール例>

(平日PMの例)

13:00～14:00 意見交換・写真撮影@参議院議員会館内会議室

14:00～14:30 休憩・お土産購入、移動

14:30～15:30 国会見学

15:45 会議室へ戻り解散

(土日AMの例)

10:00～11:00 国会見学

11:00～11:30 電車移動

11:30～12:30 意見交換@議員会館近くの会議室や自治労会館（要確保）

4. 支持者拡大の取り組み（紹介者活動）

(1) 支持者拡大の取り組み（紹介者活動）

① 支持者拡大にむけた考え方

この間、組合員本人に対する支持獲得の取り組みを進めてきましたが、10月以降については、組合員の家族・親類・知友人等への支持者拡大（紹介者活動）にも取り組みます。なお、名簿獲得最低目標数については、2025年1月の県本部代表者会議にて提案する予定です。

② 進め方

ア 支持者拡大の手法は、(ア)後援会加入申込書による紹介者活動【サンプル：資料3・P21】、(イ)支持者カード(紹介者カード)【サンプル：資料4・P23】など、これまでの取り組みを踏まえ、県本部ごとに検討して実施するようお願いいたします。

イ 今後、本部は、県本部と、県本部の獲得目標や具体的な取り組みについて協議いたします。

ウ 県本部は、単組と、目標達成にむけた具体的な取り組みについて協議いたします。

③ 集約日

以下の通り毎月集約とします。各県の集約状況は、随時県本部代表者会議等で報告します。

あわせて、後援会加入者については、県本部・単組で入力した加入者データを本部選対(担当：渡邊武、橋本勇介)まで送付ください。加入御礼等の各種郵送物を発送します。

◆ 10月11日(金)

◆ 11月15日(金)

◆ 12月20日(金)

◆ 1月17日(金)

◆ 2月21日(金)

◆ 3月21日(金)

◆ 4月18日(金)

※ 以降は別途提起

(2) 組合員に「3回声をかける」

① 目 標

組合員一人ひとりに対して最低「3回声をかける」ことを通じて、「岸まきこ」の「周知」、「浸透」、「定着」をめざします。“声かけ”は、「岸まきこ」の取り組みのみならず日常的な組合活動の一環とし、組合員とのコミュニケーションをはかります。

② 内 容

ア 「周知」については、集会やオルグ、機関紙を活用して単組の推薦決定を知らせる、「岸まきこ」本人と会える機会をつくる(ウェブ含む)、「ソフトボール型応援メッセージ」の活用、単組・県本部の独自の教宣活動など、複数の手法を重層的に展開します。

イ 「浸透」については、後援会加入活動(またはそれに代わる県本部それぞれの取り組み)による声かけ、後援会加入者にニュースを届ける、紹介者活動に取り

組んでもらう、単組・県本部における学習会の開催、LINE公式アカウントへの友だち登録といった手法により、単組執行部からの直接組合員への声かけを徹底します。

ウ 「定着」については、組合員との面談（職場面談、家庭オルグ等）、職場内声かけ行動、電話かけなどにより、投票行動および棄権防止の呼びかけを徹底します。

5. 政治学習会を通じた取り組みの拡大と単組活動のバックアップ

(1) 組合員に対し、最も影響力を発揮できるのは身近な組合員や単組役員です。このため、自治労が政治闘争に取り組む意義を理解し、さらには「岸まきこ」をはじめとする組織内国会議員の活動などを発信できる「コアな層」の単組役員・組合員を増やしていくことが重要です。本部・県本部は、そうした「コアな層」を増やすとともに、組織活動に悩む単組のバックアップを行うため、以下の通り取り組みます。

① 本部は、複数の地連（9月20日時点：東北、関東甲、東海、近畿、九州）の会議等で、今後の取り組みを進めるにあたっての考え方や単組への説明のポイントなどを共有するとともに、単組役員を対象とした県本部やブロックでの学習会の開催などについて依頼してきました。引き続き、資料提供などのサポートを行います。

② 県本部は、本部が作成した政治活動学習資料などを活用しながら単組役員むけの学習会を開催し、単組役員の意識の啓発と発信力の向上をはかります。また、県本部は、単組ごとに活動状況を随時点検し、必要に応じてオルグなどの具体的対策を行うなど、単組に対するバックアップ体制を構築します。

(2) 単組は、組合員に対し、自治労が政治闘争に取り組む意義の共有化をはかるため、政治学習会を開催します。とくに、女性や若年層組合員に理解を得ることを重視します。

6. 評議会等対策

(1) 評議会・協議会・横断組織、全消協対策

① 評議会等の今後の取り組み

ア 幹事会での議論をもとに、評議会・協議会四役等による県本部・単組オルグや、各種集会、幹事会等あらゆる機会を捉えて、取り組み方針を確認し、「岸まきこ」の名前や活動を周知します。その際、「岸まきこ」LINE公式アカウントへの友だち登録、YouTube「きしまきちゃんねる」への登録の拡大や独自のビラや資料を活

用します。また、Googleフォーム等を用いた集会アンケートに「岸まきこ」の認知度や、参議院全国比例選挙で「個人名」で投票できることの認知度等を確認する設問を作成および実施します。

(例) 衛生医療評議会でのGoogleフォームによるアンケート



【設問】「岸まきこ」さんが擁立されたことを知っていましたか？

【設問】参議院全国比例投票では、個人名が多い候補者から当選することをしっていましたか？

イ 地域や職域など、組合員に近い立場の者が「岸まきこ」の代理として訴えかけることが効果的であることから、評議会・協議会や県職共闘・大都市共闘・町村評議会等の横断組織について、本部役員および評議会等の役員によるオルグの実施を検討するなど、取り組みの強化をはかります。とくに、都道府県職や県都・政令市・特別区職といった組合員数の多い単組については、取り組みの程度で結果に大きな影響を与えます。県本部は、本部および共闘組織と連携して対策をお願いします。

② 評議会等における後援会加入の取り組み

ア 2024年度第2回県本部代表者会議（1月15日開催）の方針を踏まえ、各評議会・協議会・横断組織においても「岸まきこ後援会」への加入活動に順次取り組んでいます。県本部によっては、県本部・単組で実施している後援会加入の取り組みと評議会等の取り組みが重複する場合がありますが、より重層的な取り組みとするため、県本部においても、各評議会・協議会・横断組織等との連携を進めてください。

※ 重層的な取り組みを進めるという観点の下、取り組みの推進をお願いします。
ご不明な点がありましたら本部選対までお問い合わせください。

イ 現時点で、以下の評議会等において独自の後援会加入申込書を作成しています。
加入申込書は、評議会等が開催する集会等で配布し、参加者に対して後援会加入を呼びかけます。

- ・ 現業評議会
- ・ 臨時・非常勤等職員全国協議会
- ・ 公共サービス民間労働組合評議会 ※政策ビラ
- ・ 全国一般評議会
- ・ 国保労組協議会 ※政策ビラ
- ・ 公営競技評議会 ※政策ビラ
- ・ 衛生医療評議会
- ・ 社会福祉評議会 保育部会

ウ 本部評議会等が主催の集会等で配布・回収した加入申込書は、本部選対で集約をして、名簿化します。県本部評議会等で配布・回収した加入申込書については、県本部で集約してください。3. (1)③の本部集約日に、各県本部で集約している後援会加入者名簿を本部に送付いただき、本部において本部管理の加入者名簿と突合し、重複分を整理の上、県本部にフィードバックしますので、組合員が複数回加入申込書を提出しても構いません。

(2) 「岸まきこ」とがんばる女性ネットワークの取り組み

- ① 女性部と一体となり取り組みを進めており、各県本部からすでに「女性ネット委員」（県本部女性専従者、県本部女性役員、県本部女性部長等）を選出しています。また、各県本部では「女性ネット委員」を中心に女性ネットワークを設置し、学習会や集会を開催し「岸まきこ」の周知浸透を図っていきます。
- ② 本部の「岸まきこ」とがんばる女性ネットワーク作成のビラを活用し、名前の周知を行っていきます。
- ③ 第2回「岸まきこ」とがんばる女性ネットワーク会議で確認した「当面の具体的な取り組み」は、以下の通りです。

ア 本部の取り組み

- a 「岸まきこ」の名前の定着にむけて「ソフトボール型応援メッセージ」を活用し、女性層の支持を拡大するための活動を展開します。



メッセージシート (A1判)



メッセージシール
(W85mm×H115mm)

- b 女性ネット独自の学習資料等を作成し、提供します。
- c 「岸まきこ」を女性組合員に知ってもらうツールとして、SNSなどを活用します。
- d 県本部が開催する集会・学習会等に対し、必要に応じて本部から講師を派遣します。
- e 各県本部の女性ネットの取り組み事例等を共有します。
- f 各県本部女性部と連携し、女性ネットとしての県本部オルグを行います。

イ 県本部の取り組み

- a 各県本部に「**岸まきこ**」と**がんばる女性ネットワーク**を設置します。一人でも多くの女性組合員に「岸まきこ」の名前の定着を図るため、各県本部女性ネットワークにおいて、取り組み計画を策定し実践につなげるとともに、各県本部との共有をはかります。未設置の県本部は、10～11月を目途に設置し具体的な取り組みを策定します。
- b 女性集会や学習会などの女性組合員が集まる場を積極的に設定します。
 - i) 春闘期までに、県本部での学習会や集会などを開催します。
 - ii) 単組においても、学習会や集会などを企画するとともに、総支部やブロックを活用した学習会や集会などを追求します。
- c 女性部をはじめ様々な補助機関など女性組合員が集まる場において、「岸まきこ」の名前の定着にむけて「ソフトボール型応援メッセージ」の取り組みを積極的に展開します。
- d 県本部の機関紙等を発行する際に、「岸まきこ」の名前の定着をはかるとともに女性ネットの取り組みを、広く組合員に周知します。
- e 女性組合員の支持拡大にむけ、3回の声かけの取り組みを行います。
- f 女性ネットによる取り組みについては、評議会・補助機関や若年層組合員、女性役員経験者とも連携し進めます。

(3) 青年対策の取り組み

- ① 政治に対して関心がない、立憲民主党以外の政党を支持する等、組織内議員の必要性を感じにくい青年層とどう向き合っていくかが課題であり、青年層の政治に対する意識が変わってきている現状を踏まえ、対策を講じる必要があります。
- ② 本部青年部においては、「岸まきこ青年選挙対策委員会」を立ち上げ、以下の通り取り組みを進めています。

ア 取り組み方針

10月18日に「第3回岸まきこ青年選挙対策委員会」を開催し、基本的な方向性や具体的な取り組みを議論していきます。

イ 各県本部段階における取り組みの推進

具体的な取り組みは「岸まきこ青年選挙対策委員会」で議論し、決定していきますが、現在のところ以下の取り組みを軸として考えています。

- i 各県本部青年部においても、政治闘争討論等ができる機会を確保する観点から、県本部青年部単位での選対の設置を追求する
- ii 「岸まきこ」本人や組織内議員が若手組合員と話す場面を積極的に作る
- iii 国会見学や議員事務所(岸・鬼木事務所)の訪問を企画し、政治に関する理解や実感を高める取り組みを実施
- iv 本部青年部作成ビラを活用して、公共サービスと私たちの職場実態の関係性、「岸まきこ」の名前の周知・浸透を図る取り組みの実施

7. 退職者・管理職への取り組み

(1) 自治体退職者会および岸まきこ後援会役員の取り組み

- ① 自治体退職者会は、以下のスケジュールで取り組みを進めています。

<これまでの主な取り組み>

ア 2023年9月 自治体退職者会での推薦決定(役員会)

イ 10月 自治退県本部・単会に対して「岸まきこ」の推薦決定を依頼

ウ 2024年2月 「岸まきこ」政策制度要求チラシ(退職者会版)の発送

エ 7月 後援会加入リーフレット(退職者版)の発送

<今後の取り組み予定>

ア 2024年10月 退職者版DVD「退職者会とともに岸まきこ」の発送

イ 10月 「岸まきこさんとともに社会保障充実・機能強化を」チラシ(自治退組織内討議資料)の発送

- ② 岸まきこ後援会では【資料5・P25】の役員体制を確立し、自治体退職者会と連携して、退職者対策を軸とした取り組みを進めることとしています。

具体的な取り組みとしては、地連内の各後援会役員で担当県本部を割り振り、後援会役員が自治退県本部・単会と連携しつつ、「岸まきこ」の推薦決定や後援会加入活動などの要請を行います。また、退職者の女性を中心として、「後援会女性ネットワーク（後援会女性ネット）」の取り組みを進めます。

(2) 県本部・単組における退職者対策

- ① 各県本部においては、上記(1)の取り組みについてご理解とご協力をお願いします。
- ② 自治労県本部・単組は、退職者会に対して下記の対応をお願いします。
- ア 自治労県本部の参議院選挙闘争方針（目標設定や後援会加入・支持者拡大の取り組み等）を自治退県本部と共有してください。また、県本部の選挙闘争本部のメンバーに、退職者会役員等を必ず入れるようお願いします。
- イ 自治退県本部や単会の諸行動の日程を把握し、「岸まきこ」の広報物の配布や動画の上映等、「岸まきこ」の周知を行ってください。
- ウ 各単会に対して、推薦決定の徹底や後援会リーフレットの配布、自治労県本部が行う支持者拡大の要請等、でき得る取り組みの展開をお願いします。

(3) 管理職への取り組み

自治労組合員のOB・Gである管理職についても、「岸まきこ」の呼びかけの対象です。可能な限り、岸まきこ後援会への加入等の取り組みを進めてください。

8. 自治体議員との取り組み

(1) 「岸まきこを応援する自治体議員の会」

- ① 自治体議員連合は、「岸まきこを応援する自治体議員の会」を設置し、自治労自治体議員連合会員の加入推進に取り組んでいます。加入リーフレットは、2024年5月31日付で、自治体議員連合会員数の部数を県本部宛に発送しています。
- ② 各県本部においては、各県本部に所属する自治体議員連合会員に対して、「岸まきこを応援する自治体議員の会」への加入の呼びかけをお願いします。加入については、自治体議員連合の会員のみならず、準会員、自治労組織内以外の推薦・協力議員も加入できますので、各県本部の判断で、加入促進活動を進めてください。
- ③ 県本部の参議院選挙闘争本部に、自治体議員連合の代表者等を構成メンバーに入れるよう検討してください。

(2) 自治体議員からの紹介活動の展開

- ① 自治体議員それぞれの後援会等を活用して、紹介活動をしていただくようお願いいたします。紹介活動の際には、自治労組合員以外の方をご紹介いただくようお願いいたします。
- ② 紹介いただいた方については、岸まきこ後援会事務局より直接後援会への加入呼びかけを行うことも可能です。この場合については、個別に相談に応じますので、本部選対までご連絡ください。

9. 協力産別・団体・関連企業の対策

(1) 協力産別・団体

これまでの参院選支援産別・団体の中央本部に、自治労本部から支援要請をしています。各組織の現時点の対応状況は以下の通りです。

① 中央で推薦決定いただいている産別・団体について

政労連（2023年10月2日）、全自交労連（10月15日）、運輸労連（10月25日）、NHK労連（11月6日）、全財務（11月6日）、全消協（11月8日）、交運労協（11月13日）、ヘルスケア労協（11月18日）、全印刷（11月21日）、部落解放同盟（12月5日）、森林労連／林野労組（12月19日）、全農林（2024年4月2日）、全開発（6月3日）、国公連合（6月11日）、全国競馬連合（6月20日）、全水道（8月1日）となっています。なお、地域割りについては、決まり次第、別途本部選対より連絡します（現在決定している地域割りは、資料6～7・P26～28参照）。

※ NHK労連は日放労の上部組織です。

② 中央での推薦はないが、地域単位等で協力いただける団体について

全労金、労済労連、日高教、全国農団労については、中央で推薦することはありませんが、地域のつながりをお願いすることについて、各団体より了承を得ています。

全建総連については、前回同様、中央での推薦はありませんが、地元のつながりをお願いすることについて、全建総連本部より了承を得ています。

各県本部から各県の全建総連に協力要請が可能で、訪問される場合は、まず、本部選対にご一報ください。本部選対が全建総連本部の確認を取ります。

③ 推薦依頼を進めている産別・団体について

以下の産別・団体について、それぞれ推薦依頼を行っています。先方より連絡が入りましたら、本部選対から対応についての文書を送付します。

ティグレフォーラム

(2) 関連企業対策

本部および各県本部において、今後対応することとします。

10. 広報関係

(1) 本部作成の広報物

- ① 本部選対・岸まきこ後援会等で作成している広報物については別紙の通りです。注文については、産別ネットの「岸まきこ教宣素材」のページに注文票のフォームがありますので、FAXにて本部選対まで送付ください。
また、政治活動学習資料（パワーポイント）やバナー用素材、パワーポイント用素材などのダウンロードコンテンツも「岸まきこ教宣素材」のページに掲載していますので、ご活用ください。
- ② 本部選対では「岸まきこ」の各種動画を作成しています。評議会の動画、集会・会議等に使用したあいさつ動画などを掲載しており、今後も追加する予定です。単組・県本部での集会・会議の開催前や休憩時間に上映するなど、「岸まきこ」の周知にご活用ください。

(2) 単組・県本部での広報活動

- ① コロナ禍前の2019年「岸」選挙においては、単組・県本部が作成した広報物の方が、本部作成の広報物より活用度合いが高いことが、アンケート調査等で如実に表れています。各単組・県本部は、積極的に「岸まきこ」の周知活動を進めるための広報物を作成します。
- ② 素材については、産別ネットの「岸まきこ教宣素材」のページから写真データ、イラスト素材、広告清刷等をダウンロードすることができますので、機関紙等を作成する際にご活用ください。また、掲載のない素材についても可能な限り提供しますので、直接本部選対までお問い合わせください。
- ③ 「岸まきこ」の来県時の写真を各単組・県本部の広報物に繰り返し掲載してください。
- ④ 自治労組織内の鬼木まこと参議院議員のほか、当該県本部・単組の組織内の自治体議員や協力国会議員と一緒に掲載される広報物を追求します。
- ⑤ 各単組・県本部の機関紙等については、今後の本部の写真・イラスト等活用素材の作成の参考とするため、サンプル（2部程度）を本部選対に送付してください。

(3) ウェブを活用した広報

以下のウェブ媒体において情報発信をしていますので、組合員への周知をお願いします。

<現在運用されているウェブ媒体>

- ・岸まきこ公式サイト
- ・Facebook（友だち申請が必要です）
- ・X（旧Twitter）
- ・YouTubeチャンネル
- ・LINE公式アカウント
- ・Instagram



岸まきこの生い立ちから現職までの人となりを紹介した動画「役場職員から国会議員へ」を「岸まきこ教宣素材」のページに公開しています。



①-1：LINE公式アカウント

2024年7月29日より「岸まきこ」LINE公式アカウントの運用を開始しました。まずは「友だち」を増やすため、本部の提供する教宣素材（清刷各種、名刺裏面フォーマット、後援会ニュースなど）に二次元コードを掲載しています。

各種機材に二次元コードを掲載していますが、それだけでは「友だち」は増えません。集会・会議の場での「直接の声かけ」が最も重要です。

①-2：LINEスタンプ

「岸まきこスタンプVol.2」のLINEスタンプを発売しています。発売から多くの方にご購入いただき、活用いただいておりますが、下記の通り注意事項がありますので、お気をつけください。

<LINEスタンプの注意事項について>

LINEストアに「プレゼントする」という既定の機能があります。本機能については、比較的新しい機能ですので、政治活動・選挙運動での利用については法的解釈が確立されていません。そのため、自治労内部での利用にあたっては、念のため「プレゼント機能は使用しない」という考え方で統一いたしますので、よろしくお願ひします。

なお、「岸まきこ」LINEスタンプの購入期限についても、参院選公示日前日までの予定にしています。参院選公示日以降は念のため購入できないようにします。

② X（旧Twitter）

「岸まきこ」本人が日々の様子等を投稿しています。清刷等に二次元コードの掲載をしておりますので、こちらもフォロワーの獲得・拡大、県本部・単組のアカウントによる「リツイート（RT）」と「いいね」をお願いします。

③ Facebook（友だち申請が必要です）

「岸まきこ」本人が日々の様子等を投稿しています。清刷等に二次元コードを掲載しておりますので、こちらも「いいね」の獲得・拡大、県本部・単組のアカウントによる「シェア」と「いいね」をお願いします。

④ YouTubeチャンネル（きしまきちゃんねる）

二次元コードまたは、YouTubeで「岸まきこ」と検索し、チャンネル登録、動画の高評価等をお願いします。

誰でも閲覧することのできる設定で投稿しております（一部限定公開）。小さな単位での集まりでの上映や、LINEやメール等での共有など、広めやすい仕様となっておりますので、積極的な拡散・活用をお願いします。

※（1）②の本部作成動画と異なります。本部作成動画は、一般に公開するものではなく、あくまでも自治労内部で活用するために自治労アカウントで限定公開設定になっています。

⑤ 各種SNSへの応援投稿について

XやFacebookなど、本人による投稿は継続しますが、「岸まきこ」を応援してくれる人や認知を拡大するためには、支援者による「応援投稿」が不可欠です。例えばYouTubeの動画の感想や本人の会議・集会等での決意表明を聞いた感想、自身の知る「岸まきこ」とのエピソードなど、「ロコミ」的な投稿が、信頼感を増すために非常に有効なため、支援者の拡大をはかります。

11. 政治活動・選挙運動のコンプライアンス対応について

- (1) 労働組合による政治活動の進め方や地方公務員法上の制約などについて、「だれでもわかる政治活動Q&A 2024年改訂版」を活用した学習会などを設定し、意思統一をはかります。
- (2) 各県本部は単組と連携して、自治体当局や保守系議員からのクレームなどを集約し、対応が必要な事項は、本部に報告します。本部は顧問弁護士と連携して対応をはかります。

12. 選挙区の取り組み

選挙区選挙については、連合の統一対応を基礎に、県本部として地方連合会に結集し、勤労者・市民を中心に幅広い支持基盤の拡大をはかり、勝利をめざして取り組みます。

組織内候補予定者「吉田ただとも」（大分県選挙区）の必勝にむけて、各種取り組みを進めます。

13. 取り組み体制

(1) 自治労参議院選挙闘争および第50回衆議院選挙闘争の推進体制について

自治労参議院選挙闘争および第50回衆議院選挙闘争本部を設置して、取り組みを進めます。

石 上 千 博	本 部 長（中央執行委員長）
山 崎 幸 治	本部長代行（副中央執行委員長）
木 村 ひとみ	副 本 部 長（副中央執行委員長）
伊 藤 功	副 本 部 長（書記長）
榎 本 朋 子	副 本 部 長（書記次長）
森 下 元	事 務 局 長（総合政治政策局長）
佐 藤 久美子	事務局次長（政治局長）
小 林 郁 子	事務局次長（連帯活動局長）
長 能 朋 広	事務局次長（臨時中央執行委員）
	闘 争 委 員（全中央執行委員）

(2) 自治労選挙対策事務所

〒102-8464

東京都千代田区六番町1 自治労会館2階

T E L : 03-3288-8212

F A X : 03-3288-8216

※ 総合政治政策局ではなく、直接選対にお問い合わせください。

(3) 今後の会議等予定

- ・2024年9月下旬～10月17日 「岸まきこ」県本部オルグ
(確定闘争、現業公企統一闘争オルグにあわせて)
- ・2024年11月下旬～12月(予定) 「岸まきこ」実務者会議／県本部の取り組み共有等
- ・2025年1月14日 2025年度第2回県本部代表者会議 /方針提起

以 上

<資料1>

第27回参議院選挙 連合推薦候補者一覧（比例代表）

更新日 2024/8/22

	比例代表	候補者名	ヨミガナ	政党	生年月日	年齢	現/元/新	構成組織決定日	連合推薦決定日
1	UAゼンセン	田村 麻美	タムラ マミ	国民民主党	1976/4/23	48	現①	UAゼンセン 第5回中央執行委員会 (2023.5.31)	第9回中央執行委員会 (2024.6.20)
2	自動車総連	磯崎 哲史	イソザキ テツシ	国民民主党	1969/4/7	55	現②	自動車総連 第91回中央委員会 (2024.1.11)	第8回中央執行委員会 (2024.5.16)
3	自治労	岸 真紀子	キ シ マキコ	立憲民主党	1976/3/24	48	現①	自治労 第97回定期大会 (2023.8.28~30)	第7回中央執行委員会 (2024.4.18)
4	JAM	郡山 玲	コトヤマ リョウ	立憲民主党	1974/2/24	50	新	JAM 第42回中央委員会 (2023.5.26)	第10回中央執行委員会 (2024.7.19)
5	J P 労組	小澤 雅仁	オザワ マサヒト	立憲民主党	1965/8/13	59	現①	J P 労組 第16回定期全国大会 (2023.6.15)	第7回中央執行委員会 (2024.4.18)
6	日教組	水岡 俊一	ミズオカ シュンイチ	立憲民主党	1956/6/13	68	現③	日教組 第166回中央委員会 (2023.3.17)	第7回中央執行委員会 (2024.4.18)
7	電力総連	浜野 喜史	ハマノ ヨシマ	国民民主党	1960/12/21	63	現②	第2回電力総連 政治活動委員会 (2023.12.14)	第9回中央執行委員会 (2024.6.20)
8	情報労連	吉川 沙織	ヨシカワ サオリ	立憲民主党	1976/10/9	47	現③	情報労連 第1回中央闘争委員会 (2024.2.26)	第9回中央執行委員会 (2024.6.20)
9	私鉄総連	森屋 隆	モリヤ タカシ	立憲民主党	1967/6/28	57	現①	私鉄総連 第15回中央執行委員会 (2023.1.31)	第8回中央執行委員会 (2024.5.16)

第27回参議院選挙 連合推薦候補者一覧（選挙区）

更新日 2024/8/22

	選挙区	候補者名	ヨミガナ	政党	生年月日	年齢	現/元/新	地方連合会決定日	連合推薦決定日
1	北海道	勝部 賢志	カツベ ケンジ	立憲民主党	1959/9/6	64	現①	連合北海道 第10回執行委員会 (2024.7.25)	第11回中央執行委員会 (2024.8.22)
2	大分県	吉田 忠智	ヨシダ タカトモ	立憲民主党	1956/3/7	68	元②	連合大分 第5回執行委員会 (2024.2.28)	第7回中央執行委員会 (2024.4.18)

岸まきこ推薦決定単組数一覧(推薦状原本送付ベース)

2024年9月25日現在

県本部名	推薦決定日	加盟単組数	推薦決定単組数	%	推薦決定支部数	地本・分会・評議会等
北海道	2023年9月26日	217	119	54.84%	7	5
青森	2023年9月29日	48	16	33.33%		
岩手	2023年9月30日	25	16	64.00%		
宮城	2023年10月14日	39	22	56.41%		
秋田	2023年9月5日	45	18	40.00%		
山形	2024年2月15日	52	41	78.85%		
福島	2023年10月14日	78	61	78.21%	3	
新潟	2023年11月7日	49	18	36.73%		
群馬	2023年9月15日	47	34	72.34%		2
栃木	2023年9月21日	47	38	80.85%	10	23
茨城	2023年9月27日	47	24	51.06%	3	6
埼玉	2023年10月14日	52	46	88.46%	1	6
東京	2023年9月26日	115	55	47.83%		8
千葉	2023年10月21日	35	23	65.71%		7
神奈川	2023年10月13日	53	44	83.02%	14	12
山梨	2023年9月28日	40	21	52.50%	1	5
長野	2023年9月22日	112	51	45.54%	5	
富山	2023年12月5日	41	-	#VALUE!		
石川	2023年11月8日	46	26	56.52%		7
福井	2023年9月26日	34	30	88.24%	3	7
静岡	2023年9月27日	41	23	56.10%		1
愛知	2023年9月29日	41	31	75.61%	24	
岐阜	2023年9月23日	37	33	89.19%	1	22
三重	2023年9月13日	51	40	78.43%	11	98
滋賀	2023年9月29日	52	22	42.31%		4
京都	2023年9月8日	35	25	71.43%	14	7
奈良	2023年9月23日	37	25	67.57%		6
和歌山	2023年9月16日	28	10	35.71%		10
大阪	2023年9月13日	120	101	84.17%	61	76
兵庫	2023年10月7日	100	90	90.00%	23	34
岡山	2023年9月29日	35	25	71.43%		8
広島	2023年9月23日	38	27	71.05%		
鳥取	2023年9月29日	42	41	97.62%	10	9
島根	2023年9月26日	37	37	100.00%		
山口	2023年10月7日	35	18	51.43%	15	
香川	2023年9月6日	43	41	95.35%	1	10
徳島	2023年9月28日	51	38	74.51%		
愛媛	2023年10月21日	24	6	25.00%		
高知	2023年10月3日	36	26	72.22%		8
福岡	2024年2月22日	98	63	64.29%	13	48
佐賀	2023年9月30日	42	40	95.24%		
長崎	2023年9月29日	56	26	46.43%		
大分	2024年2月9日	31	28	90.32%		
宮崎	2023年9月23日	30	24	80.00%	2	
熊本	2023年9月29日	79	24	30.38%	1	1
鹿児島	2023年9月23日	64	57	89.06%	6	6
沖縄	2024年2月3日	56	17	30.36%		
社保労連	2023年12月3日	3	3	100.00%		
合計	48	2,564	1,644	64.12%	229	436



【岸まきこ後援会】入会・紹介者カード

(組合員用)
(100)

「岸まきこ」後援会は、「岸まきこ」の活動を応援するための団体です。どなたでも加入することができます。会費は無料です。たくさんの方のご加入が、「岸まきこ」の活動の原動力になります。あなたも「岸まきこ」の応援団に加わって、「岸まきこ」を応援しましょう。また、一緒に応援して下さるご家族・親類・友人・知人をご紹介します。

【記入者】 新規にご入会いただく方 既にご入会いただいている方 (し印をつけてください)

お名前	フリガナ	お勤め先
		電話番号
ご自宅の住所 〒		E-mail
<input type="checkbox"/> 郵送でのレターを希望しない / <input type="checkbox"/> E-mailでのレターを希望しない		

【紹介者】 ご家族・親類・友人・知人をご紹介します。

①	お名前	フリガナ	あなたとの関係
			電話番号
	ご自宅の住所 〒		E-mail
②	お名前	フリガナ	あなたとの関係
			電話番号
	ご自宅の住所 〒		E-mail
③	お名前	フリガナ	あなたとの関係
			電話番号
	ご自宅の住所 〒		E-mail
④	お名前	フリガナ	あなたとの関係
			電話番号
	ご自宅の住所 〒		E-mail
⑤	お名前	フリガナ	あなたとの関係
			電話番号
	ご自宅の住所 〒		E-mail

※このカードに記載の情報は「岸まきこ」の政治活動以外の目的には使用しません。 ※また、紹介いただく方本人の了承を必ず得てから記載してください。

岸まきこ後援会 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館611号室 TEL 03-6550-0611 FAX 03-6551-0611

参議院議員
「岸まきこ」6つの政策



地域住民のための公共サービスの拡充を

地域住民に近い地方自治体が自主的な取り組みを行えるよう権限移譲と地方財政の確立をめざします。



格差のない持続可能な社会の実現を

社会的格差の拡大に歯止めをかけ、誰もが安心して働き生活できる社会を実現します。



全世代に対応した社会保障制度の充実を

少子・高齢・人口減少社会に対応し、全世代が安心して暮らせるよう、普遍的な社会保障制度をめざします。



性別に関係なく誰もが生きやすい社会を

LGBTQ+をはじめとしたジェンダー平等社会の実現に向け、女性の就労支援等、具体的な政策を推進します。



平和な国際社会の実現を

憲法理念の平和主義・国民主権・基本的人権を尊重し、協調外交や人権外交を推進します。



脱炭素社会と 地域分散型エネルギー社会の実現を

省エネや地域分散型の再生可能エネルギーを推進し、地球温暖化に歯止めをかけます。

「岸まきこ」とともに
誰もが輝く社会を
実現しよう！



参議院議員 岸まきこ PROFILE

● 略歴

1976年 北海道岩見沢市（旧栗沢町）生まれ
1994年 北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後
旧栗沢町役場入職（現岩見沢市）
2004年 自治労北海道空知地方本部 女性部長
2006年 市町村合併により岩見沢市役所勤務
2007年 自治労北海道空知地方本部 書記次長
2008年 同 書記長
2010年 同 副執行委員長
2011年 自治労北海道空知地方本部 書記長

2013年 連合北海道空知地域協議会 副会長
自治労中央本部 法対労安局長
2015年 同 組織対策局長
2017年 自治労特別中央執行委員（組織対策担当）
2019年 第25回参議院議員選挙で初当選
2023年 参議院総務委員会、決算委員会、地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会（筆頭理事）に所属。自治労組織内議員として、日々奮闘中。

● 好きな言葉

「やる気・本気・根気」
中学時代の先生からいただいた言葉です。

● スポーツ

小学校はバレーボール部、中・高はソフトボール部に所属。ポジションはキャッチャー。



「きしまきちゃんねる」
はこちら

公式HPや各種SNSで、
日々の活動を発信中！
こちらからご覧ください



■自治労は「岸まきこ」の自治労支部として加入申し込み書を取りまとめています。

岸まきこ
後援会
規約（抜粋）

- 本会は「岸まきこ後援会」と称し、代表者は岸まきことする。
- 本会は岸まきこの政治活動を支援することを目的とする。
- 会員は本会の目的に賛同する者とする。

岸まきこの名前を
下に書いてください。

私は を

支持し、応援します。

フリガナ
ご自身のお名前 _____
単組名 _____
職場名 _____
ご自宅の住所 〒 _____
番() - _____

■家族・親戚・知り合いの方を紹介します。

お名前 フリガナ() あなたとの関係()	本人 確認欄 <input type="checkbox"/>
ご自宅の住所 〒 番() - _____	
お名前 フリガナ() あなたとの関係()	<input type="checkbox"/>
ご自宅の住所 〒 番() - _____	
お名前 フリガナ() あなたとの関係()	<input type="checkbox"/>
ご自宅の住所 〒 番() - _____	
お名前 フリガナ() あなたとの関係()	<input type="checkbox"/>
ご自宅の住所 〒 番() - _____	
お名前 フリガナ() あなたとの関係()	<input type="checkbox"/>
ご自宅の住所 〒 番() - _____	

※このカードに記載の情報は「岸まきこ」の政治活動以外の目的には使用しません。また、ご友人・お知り合いの方をご紹介いただく際には、必ずご本人の了解を得てから記載してください。

◆切り取って、家族・親戚・知り合いの方に「岸まきこ」を周知する際にご活用ください。

「岸まきこ」とともに、 誰もが輝く社会に実現しよう!



岸まきこの
6つの政策

- 地域密着の公共サービスを
- 格差のない持続可能な社会を
- 全世代対応の社会保障制度を
- ジェンダー平等社会の実現を
- 平和な国際社会の実現を
- 地域分散型エネルギー社会を



公式HPや各種SNSで、
日々の活動を発信中!
こちらからご覧ください



組織内討議資料



参議院議員



岸まきこ

支援の輪を

広げよう

声を力に、
一歩前へ



私たちの代表

「岸まきこ」の活動を 組合員・家族一丸となって 支援しよう!



自治労がめざす公共サービスの充実と
私たちの生活改善のための政策を国政
に反映するために、声を集めましょう!

参議院議員 **岸まきこ**



プロフィール
動画はこちら

P R O F I L E

● 略歴

- 1976年 北海道岩見沢市（旧栗沢町）生まれ
- 1994年 北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後
旧栗沢町役場入職（現岩見沢市）庶務係、
議会事務局、振興課企画・合併対策担当
- 2004年 自治労北海道空知地方本部 女性部長
- 2008年 同 書記長
- 2013年 自治労本部 法対労安局長、組織対策局長
- 2019年 第25回参議院議員選挙で初当選
- 2023年 参議院総務委員会、決算委員会、地方創生・
(10月現在) デジタル特別委員会（筆頭理事）に所属。
自治労組織内議員として、日々奮闘中。

岸まきこ後援会 役員

会 長	徳永 秀昭 / 大阪	
会長代行	人見 一夫 / 東京	
副 会 長	徳茂万知子 / 神奈川	*女性
事務局長	大場 博之 / 北海道	
幹 事	飯田 龍弘 / 北海道 (北海道)	
幹 事	川野 光江 / 北海道 (北海道)	*女性
幹 事	佐々木俊彦 / 宮城 (東北)	
幹 事	加藤 孝二 / 山形 (東北)	
幹 事	軍司 輝雄 / 東京 (関東甲)	
幹 事	手塚 仁 / 山梨 (関東甲)	
幹 事	石黒 博 / 富山 (北信)	
幹 事	野村 昇司 / 石川 (北信)	
幹 事	浅井 昇 / 愛知 (東海)	
幹 事	浜中 正幸 / 三重 (東海)	
幹 事	植本眞砂子 / 大阪 (近畿)	*女性
幹 事	大槻 信夫 / 兵庫 (近畿)	
幹 事	越智 茂雄 / 広島 (中国)	
幹 事	澤田 陽子 / 鳥取 (中国)	*女性
幹 事	宝田 公治 / 香川 (四国)	
幹 事	岡林 俊司 / 高知 (四国)	
幹 事	砂川 由弘 / 福岡 (九州)	
幹 事	大久保貴司 / 宮崎 (九州)	
幹 事	野田那智子 / 本部	*女性
幹 事	野村 昌弘 / 本部	※本部常駐

(上記で計24人/うち女性5人)

「岸まきこ」協力産別・団体一覧

1. 推薦決定済(割り振りあり)

産別・団体名	推薦決定日	振り分け	備考
全水道 (全日本水道労働組合)	2024年8月1日	有	別紙(北海道、東北(福島除く)、関東(埼玉)、近東(大阪)、四国、中国、九州(南部))
政労連 (政府関係法人労働組合連合)	2023年10月2日	有	地域割りは、2025年2月上旬の中央委員会以降決定。
全農林 (全農林労働組合)	2024年4月2日	有	北海道、東北(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)、東海(静岡、愛知、岐阜、三重)の割り振り予定。各県の窓口の確認中。
林野労組 (全国林野関連労働組合)	2023年12月19日	有	別紙(北海道)
運輸労連 (全日本運輸産業労働組合連合会)	2023年10月25日	有	別紙(北海道地連、九州ブロック、沖縄県連)
全国競馬連合 (全国競馬産業労働組合連合会)	2024年6月20日	全体	全国枠として推薦
ヘルスケア労協 (健康医療福祉労働組合協議会)	2024年1月23日		地域の繋がりで対応できるところもあると思われるので、各自治労 県本部から連絡・対応していただきたい。
NHK労連 (NHK関連労働組合連合会) ※日放労の上部団体	2023年10月24日	有	北海道(札幌)、東北(仙台)、中国(広島)ブロックの割り振り予定。
全自交労連 (全国自動車交通労働組合連合会)	2023年10月15日	有	地域割りの通知は来ていないが、北海道で、その他は「地域判断で 取り組む」という方向。森屋(私鉄総連)の影響あり。
部落解放同盟	2023年12月1日	有	別紙
ティグレフォーラム		有	地域割りも含め、決定については来年になる見込み
東京生活者ネットワーク			都本部と連携して対応。

2. 地域対応(推薦決定はないが地域の関係で協力可能な産別)

産別・団体名	状況
全建総連 (全国建設労働組合総連合)	・地域組織ごとの判断だが、全建総連本部から対応可能組織をいただいたら本部から県本部に共有する。
全労金 (全国労働金庫労働組合連合会)	・地域の繋がりで対応できるところもあると思われるので、各自治労県本部から連絡・対応していただきたい。
労済労連 (全国労済労働組合連合会)	・地域の繋がりで対応できるところもあると思われるので、各自治労県本部から連絡・対応していただきたい。
日高教 (日本高等学校教職員組合)	・前回鬼木選挙と同様の対応の可能性あり。 あらためて、日高教本部に確認したうえで、県本部と共有する。
全国農団労 (全国農業団体職員労働組合連絡協議会)	・地域の繋がりで対応できるところもあると思われるので、各自治労県本部から連絡・対応していただきたい。

3. 他候補支援(推薦依頼)

産別・団体名	状況
全印刷 (全印刷局労働組合)	2023年11月26日 2024/3/21に全印刷全単組会議で岸本人があいざつぎさせてもらった。今後どういう依頼ができるか、確認していく。
全開発 (全開発局労働組合)	2024年6月6日
税関労組 (日本税関労働組合)	- 推薦なし
全財務 (全財務労働組合)	2023年11月6日 今後どういう依頼ができるか、確認していく。
国税労組 (国税労働組合総連合)	- 推薦なし
全駐労 (全駐留軍労働組合)	- 推薦なし

4. 上部団体

産別・団体名	状況
国公連合本部	2024年6月11日
交通労協本部 (全日本交通運輸産業労働組合協議会)	2023年11月13日

*上記以外の産別についても協力可能なところはあるが、地域でのつながりでも対応している。

協力産別・団体の地域割り状況

県本部	全水道	林野労組	運輸労連	部落解放
	岸、水岡、森屋	岸、水岡、吉川、森屋、田村まみ	岸、小沢、吉川、森屋	岸、小沢、水岡、吉川、森屋
北海道	釧路、旭川、札幌、苫小牧、室蘭、小樽、函館	札幌、石狩、空知、胆振東部、日高北部、日高南部、局	○ 岸	
青森	青森、弘前、八戸、北奥羽		(小沢)	
岩手	盛岡		(小沢)	
宮城	石巻、塩釜、仙台、仙台検針員		(小沢)	
秋田	秋田		(小沢)	
山形	鶴岡、最上川中部、山形		(小沢)	
福島			(小沢)	
新潟			(小沢)	
群馬			(森屋)	○
栃木			(森屋)	○
茨城			(森屋)	
埼玉	さいたま、さいたま委託者、埼玉水道サービス、所沢		(森屋)	○
東京			(小沢)	○
千葉			(森屋)	○
神奈川			(森屋)	
山梨			(小沢)	
長野			(小沢)	○
富山			(小沢)	
石川			(小沢)	
福井			(小沢)	
静岡			(小沢)	
愛知			(小沢)	
岐阜			(小沢)	
三重			(小沢)	
滋賀			(森屋)	
京都			(森屋)	○
奈良			(森屋)	
和歌山			(森屋)	
大阪	大阪、総合サービス		(森屋)	○
兵庫			(森屋)	
岡山	岡山		(吉川)	
広島	尾道、呉		(吉川)	○
鳥取	鳥取、米子		(吉川)	
島根	出雲		(吉川)	
山口	光		(吉川)	
香川	高松、香川広水道(坂出分会、県水分会、観音寺分会、多度津分会、丸亀分会)		(吉川)	
徳島	鳴門、徳島		(吉川)	
愛媛	宇和島		(吉川)	
高知	高知		(吉川)	
福岡			○ 岸	
佐賀			○ 岸	
長崎			○ 岸	
大分			○ 岸	
宮崎	宮崎、宮崎管工事		○ 岸	
熊本			○ 岸	
鹿児島	鹿児島、鹿屋		○ 岸	
沖縄	沖縄		○ 岸	

2019参議院全国比例区

<立憲民主党>

得票総数(a)+(b)	7,917,721
政党等の得票総数(a)	6,697,707
名簿登載者の得票総数(b)	1,220,014
名簿登載者数	22
当選人数	8

得票順位	当落	名簿登載者名	得票数
1	当	岸 まきこ	157,849
2	当	みずおか 俊一	148,309
3	当	小沢 まさひと	144,751
4	当	吉川 さおり	143,472
5	当	もりや たかし	104,339
6	当	川田 龍平	94,702
7	当	石川 大我	73,799
8	当	須藤 元気	73,787
9		市井 紗耶香	50,415
10		奥村 まさよし	32,024
11		若林 ともこ	31,684
12		おしどりマコ	29,072
13		ふじた 幸久	28,919
14		斉藤 りえ	23,002
15		佐藤 かおり	20,200
16		中村 ゆきこ	13,422
17		今泉 まお	11,991
18		おまた 一平	10,140
19		白沢 みき	9,483
20		まの さとし	9,008
21		しおみ 俊次	5,115
22		深貝 とおる	4,529

自治労
日教組
JP労組
情報労連
私鉄総連

<国民民主党>

得票総数(a)+(b)	3,481,078
政党等の得票総数(a)	2,174,706
名簿登載者の得票総数(b)	1,306,372
名簿登載者数	14
当選人数	3

得票順位	当落	名簿登載者名	得票数
1	当	田村 まみ	260,324
2	当	いそざき 哲史	258,507
3	当	浜野 よしふみ	256,929
4		石上 としお	192,587
5		田中 ひさや	143,493
6		大島 九州男	87,740
7		山下 ようこ	35,939
8		円 より子	24,709
9		ひめい ゆみこ	21,006
10		小山田 つね子	8,306
11		鈴木 覚	5,924
12		酒井 リョースケ	4,379
13		中沢 健	4,058
14		藤川 たけと	2,472

UAゼンセン
自動車総連
電力総連
電機連合
JAM

<社会民主党>

得票総数(a)+(b)	1,046,011
政党等の得票総数(a)	761,207
名簿登載者の得票総数(b)	284,804
名簿登載者数	4
当選人数	1

得票順位	当落	名簿登載者名	得票数
1	当	吉田 たたと	149,287
2		仲村 みお	98,681
3		矢野 あつ子	21,391
4		大権 ゆうこ	15,445

2022参議院全国比例区

<立憲民主党>

得票総数(a)+(b)	6,771,945
政党等の得票総数(a)	5,204,394
名簿登載者の得票総数(b)	1,567,551
名簿登載者数	20
当選人数	7

得票順位	当落	名簿登載者名	得票数
1	当	つじもと 清美	428,859
2	当	鬼木 まこと	171,619
3	当	古賀 ちかげ	144,344
4	当	しば 慎一	127,382
5	当	村田 きょうこ	125,340
6	当	青木 愛	123,742
7	当	石橋 みちひろ	111,703
8		白 しんくん	84,242
9		石川 まさとし	48,702
10		有田 芳生	46,715
11		堀越 けいじん	39,631
12		くりした 善行	39,555
13		はた ともこ	18,208
14		要 友紀子	17,529
15		森永 みき	10,055
16		かわの 麻美	7,941
17		さわむら けいこ	7,602
18		木村 正弘	7,101
19		田中 勝一	4,503
20		菅原 美香	2,773

自治労
日教組
JP労組
基幹労連
情報労連

<国民民主党>

得票総数(a)+(b)	3,159,628
政党等の得票総数(a)	2,234,840
名簿登載者の得票総数(b)	924,788
名簿登載者数	9
当選人数	3

得票順位	当落	名簿登載者名	得票数
1	当	竹詰 ひとし	238,956
2	当	はまぐち 誠	234,744
3	当	かわい たかのり	211,783
4		矢田 わか子	159,929
5		山下 ようこ	22,311
6		上松 正和	20,790
7		たるい 良和	16,373
8		きど かおり	16,078
9		河辺 よしろう	3,822

電力総連
自動車総連
UAゼンセン
電機連合

8. 政策実現にむけた政治活動の推進

【次期衆議院総選挙への対応】

1. 自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件を受け、通常国会で事件の真相解明や再発防止策に多くの時間が割かれてきましたが、いずれも課題が残り、政治への信頼回復にはほど遠い結果で、内閣支持率も低迷しています。また、政権交代を望む世論の声も出ている一方で、既成政党に対する不信感もあり、立憲民主党をはじめとする野党の政党支持率も伸び悩んでいるのが実情です。8月2日に連合議員政治懇談会が、立憲民主党代表、国民民主党代表それぞれに、「立憲民主党および国民民主党は、政権を担い得る勢力結集の核となり、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の最大化を図るため、互いの一致点を見出し、政策の実現に向けて協働するよう求める」等の要望を申し入れた結果、両党は次の総選挙での連携強化にむけて政策協議を始めることで合意しました。9月に自民党総裁選や立憲民主党代表選が予定されており、その結果次第で解散・総選挙の時期も左右されることから、情勢を注視しておく必要があります。国政においてさらに改憲議論が増す中、次の総選挙は、日本の平和と憲法を守る正念場であり、また、私たちがめざす公共サービスの充実をはじめとした社会的な連帯による「支え合う社会」を実現するためにも重要なたたかいです。

連合との連携を基本にしながら、自治労自らの主体的な取り組みを進めます。

【政策実現にむけた政治活動の強化】

2. 当面の政策実現にむけて、自治労組織内・政策協力議員をはじめ、自治労の政策を理解する国会議員との連携を強化し、法案対策などを進めます。
3. 国会議員と地方分権や地方財政に関する政策について認識の共有化をはかるため、全日本分権自治フォーラム政策研究会に参画するとともに、幅広い議員の参加拡大に協力します。

【参議院比例代表選挙の取り組み】

4. 本部は、2025年7月の第27回参議院選挙にむけ、組合員への「岸まきこ」参議院議員の周知・浸透をはかるため、本人による県本部・単組への訪問や組合員との意見交換、さらには評議会や退職者会対策など、ウェブを活用しながら取り組みを進めます。また、県本部が実施する政治活動やコンプライアンスについての学習会の支援を行います。
5. 県本部・単組は、「岸まきこ」後援会への組合員加入をはじめとした取り組みをさらに進めます。また、地域の実情に応じた取り組み方法を本部と協議し、具体的な支持者拡大対策などを行います。
6. 県本部・単組は、機関紙・広報物等に「岸まきこ」の活動に関する記事やSNS等を定期的に掲載し、徹底した周知活動を進めます。

【参議院選挙区選挙の取り組み】

7. 第27回参議院選挙区選挙については、

連合の統一对応を基礎に、県本部として地方連合会に結集し、勤労者・市民を中心に幅広い支持基盤の拡大をはかり、勝利をめざして取り組みます。

8. 本部は、参議院選挙区の組織内候補予定者「吉田ただとも」（大分県選挙区）の取り組みを県本部・単組と連携して進めます。

【政治活動に対する認識の共有化と担い手の育成・確保】

9. 本部は、自治労協力国会議員による国会内・外の活動を情報発信するとともに、県本部・単組で活用できる教宣素材を提供し、組合員の政治に対する関心の高まりをめざします。
10. 県本部・単組は、次期国政選挙にむけて国政報告会などを実施し、自治労協力国会議員等と組合員との対話を進めます。
11. 県本部・単組は、政治学習会の開催や、機関紙の活用を通して、政治活動の意義の共有化と、政治活動に関する正確な知識の周知をはかります。とくに、新しい単組役員や女性・若年層組合員、県職・大都市職に対する働きかけを重視します。

【自治体議員連合の取り組みと連携】

12. 本部は、自治体における協力議員の研修および交流のため、「2025年度第1回自治体議員連合全国学習会」を開催します。なお、開催時期については、政治情勢を見定めて判断します。
13. 「地方財政の充実・強化に関する意見書」について、6月に採択ができなかった自治体については、引き続き、自治体議員連合、県本部および単組と連携して、

9月の採択にむけて取り組みを進めます。

14. 県本部・単組は、自治体議員連合をはじめ、連携できる議員との日常的な対話を行い、政策協議を進めます。

【各種自治体選挙の取り組み】

15. 本部は各県本部と連携し、各種自治体選挙勝利にむけた活動を通じ、自治労の組織強化と政策実現をめざします。
16. 県本部・単組は、組織内のみならず、政策協力議員を確保・拡大し、「1自治体1協力議員」をめざします。

北海道岩見沢市役所出身
(旧栗沢町)



参議院議員

自治体職員から国会へ
岸まきこ

公共サービス職場の課題を国政で訴えます



公式HPや
各種SNSで、
日々の活動を発信中!



自治労は2025年7月に実施予定の第27回参議院選挙の全国比例区に、「岸まきこ」参議院議員の擁立を決定しました。

